



▲不審火予防のため河川敷の枯れ草やごみなどを燃やす団員

## 不審火予防に消防団が団結

米山で河川敷枯れ草焼却作業

河川敷枯れ草焼却作業が3月9日、迫川、旧迫川の河川敷で行われ、市消防団米山支団員ら約200人が参加しました。河川敷には、繁茂した雑草やごみなどが散乱し、川の流れの妨げになっていることから、市と消防団が共同で年1回枯れ草の焼き払いをしています。また、空気が乾燥するこの時期の不審火予防も兼ねています。各分団はポンプ車を配置し、風下で枯れ草に火を付けると勢いよく燃え上がりました。飛火による火災に注意しながら、消防団員による残火の確認は夕方まで実施されました。

## 塩分控えめの料理で健康に

津山で食生活改善講習会

食生活改善講習会（ヘルスサポーター21事業）が3月5日、津山ふれあいセンターで開催され、食生活改善推進員、地区住民35人が参加しました。この講習会は、食を通して楽しく健康づくりを実践してもらおうと、推進員（食生活の改善に取り組むボランティア）が企画したものです。参加者は肥満が引き起こす、さまざまな病気について学んだ後、減塩をテーマに調理実習を行いました。また、講習会終了後には、受講者へ「ヘルスサポーター登録証」が交付されました。



▲減塩をテーマに体に良い調理方法などを学ぶ参加者

## 生命と財産は自分で守る

登米で一般家庭防火査察

春の全国火災予防運動の一環として、一般家庭防火査察が3月9日に登米町内で実施され、市消防団登米支団員らが参加しました。例年春には、独居老人宅のみを訪問していますが、今回は地域で連続して火災が発生したことや今年5月から設置が義務付けられる住宅用火災警報器設置の呼び掛けを行うために、地域全世帯へと範囲を拡大して実施しました。特に警報器については、5月31日までに設置することが義務付けられているため、参加した団員は積極的な設置を呼び掛けていました。



▲団員らが各家庭を訪問して住宅火災警報器の設置を呼び掛けました



▲遠野市に昔から語り伝えられている民話を披露する細越さん

## 民話の世界に引き込まれ

石越で「遠野の民話を聞く会」

児童の心と体の健やかな成長を願い、「遠野の民話を聞く会（青少年のための登米市民会議石越支部・石越公民館共催）」が3月12日、石越小で開かれ、同校全校児童とその保護者ら310人が参加しました。講師に岩手県遠野市在住の語り部、細越雅子さんを迎え、低学年と高学年を午前・午後に分けて開催。細越さんは遠野市に昔から語り伝えられてきた民話を、イラストを使いながら、所々に笑いを誘うユーモラスな語りも交えて披露しました。参加した児童や保護者は、民話の世界に引き込まれていました。



▲馴れ親しんだ校舎で最後の校歌を思いを込めて歌う児童たち

## 馴れ親しんだ校舎にお別れ

新田第一小・二小・二幼で閉校・閉園式典

新田第一小の閉校記念式典が3月15日、新田第二小・新田第二幼稚園の閉校・閉園記念式典が16日に、それぞれ新田中、新田第二小で行われました。式典には、在校生のほか、保護者や学区内の住民、来賓が出席。児童代表のことばに続いて、参加者全員で最後の校歌斉唱を行い、校旗が市長に返納されました。今月から両小学校は統合され、新田中の隣に建設された新校舎で「新田小学校」として新たなスタートを切ります。なお、新田第二幼稚園は新田第一幼稚園に統合され、「新田幼稚園」となります。

## 宮城の歴史を古典で学習

東和で歴史展示会

歴史展示会「美しき国 日本の文化・歴史絵巻」が2月21日から5日間、東和総合支所で開催されました。展示会は宮城県図書館の協力で、源氏物語絵巻などの古典文学や絵草子、葛飾北斎の浮世絵などの高精度レプリカを展示。テーマ別に展示したコーナーには、東和町内の古くからの家に伝わる古文書なども展示されました。また、23日には宮城県図書館長の伊達宗弘さんによる歴史講座も行われ、市内外から聴講に訪れた人たちは、宮城の歴史を熱心に聞き入っていました。



▲東和総合支所の2階フロアを使って開かれた歴史展示会